

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成27年4月16日 (2015.4.16)

【公開番号】特開2014-48270(P2014-48270A)

【公開日】平成26年3月17日 (2014.3.17)

【年通号数】公開・登録公報2014-014

【出願番号】特願2012-194233(P2012-194233)

【国際特許分類】

G 2 1 K 4/00 (2006.01)

C 0 9 K 11/00 (2006.01)

C 0 9 K 11/06 (2006.01)

G 0 1 T 1/20 (2006.01)

H 0 1 L 31/08 (2006.01)

【 F I 】

G 2 1 K 4/00 B

C 0 9 K 11/00 E

C 0 9 K 11/06 6 0 1

G 0 1 T 1/20 B

H 0 1 L 31/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月26日 (2015.2.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無機蛍光化合物を含む第 1 蛍光体と、
蛍光性樹脂を含む第 2 蛍光体と、を含む
シンチレータ。

【請求項 2】

前記第 1 蛍光体は、前記蛍光性樹脂内に分散していることを特徴とする
請求項 1 に記載のシンチレータ。

【請求項 3】

前記蛍光性樹脂は、
樹脂と、
有機蛍光化合物と、からなることを特徴とする
請求項 1 又は 2 に記載のシンチレータ。

【請求項 4】

前記第 2 蛍光体は、波長変換化合物をさらに含む
請求項 1 から 3 のいずれか 1 つに記載のシンチレータ。

【請求項 5】

前記蛍光性樹脂は、熱可塑性であることを特徴とする
請求項 1 から 4 のいずれか 1 つに記載のシンチレータ。

【請求項 6】

前記第 1 蛍光体は、第 1 波長帯域で蛍光し、
前記第 2 蛍光体は、前記第 1 波長帯域とは異なる第 2 波長帯域で蛍光する

請求項 1 から 5 のいずれか 1 つに記載のシンチレータ。

【請求項 7】

シンチレータと、
光電変換部材と、を備え、
前記シンチレータは、
無機蛍光化合物を含む第 1 蛍光体と、
蛍光性樹脂を含む第 2 蛍光体と、を含む
放射線検出装置。

【請求項 8】

前記光電変換部材は、単結晶シリコンを含む
請求項 7 に記載の放射線検出装置。

【請求項 9】

前記光電変換部材は、
前記第 1 蛍光体及び前記第 2 蛍光体の発光波長に感度を持つように構成されている
請求項 7 又は 8 に記載の放射線検出装置。

【請求項 10】

放射線照射部をさらに有する
請求項 7 から 9 のいずれか 1 つに記載の放射線検出装置。

【請求項 11】

無機蛍光化合物を含む第 1 蛍光体と蛍光性樹脂を含む第 2 蛍光体とを混ぜる工程と、
前記第 2 蛍光体を硬化する工程と、を含む
シンチレータの製造方法。

【請求項 12】

前記第 2 蛍光体が熱可塑性樹脂を含む
請求項 11 に記載のシンチレータの製造方法。